取扱説明書・料理集

保証書付（保証書は裏表紙に付いています）
カンタンご使用ガイド別添付

日立 IH ジャー炊飯器 家庭用

型式 **RZ-JV100K**（1.0Lタイプ）
型式 **RZ-JV180K**（1.8Lタイプ）
型式 **RZ-JX100J**（1.0Lタイプ）
型式 **RZ-JX180J**（1.8Lタイプ）

RZ-JV100K
シャンパン（N）

RZ-JX100J
プラチナホワイト（SW）

このたびは日立 IH ジャー炊飯器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

圧力式ジャー炊飯器は内部が高圧になるため、取り扱いを誤ると危険ですので、この取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、カンタンご使用ガイドとともに大切に保存してください。
この説明書では、RZ-JV100Kを例に説明をしています。

「安全上のご注意」→P.6～11 をお読みいただき、正しくお使いください。

圧力スチーム 極上炊き
蒸気リサイクル
日立 IH ジャー炊飯器

特長とお願い

蒸気リサイクル（給水レスオートスチーマー）

炊飯中の蒸気を閉じ込め、給水レスオートスチーマーで水にし、蒸らし・保温時にスチームにしてリサイクルします。

●おいしい
圧力と高温スチームでおいしく炊き上げます。
また、スチーム保温でごはんの乾燥をおさえます。

●蒸気カット
水にしてためるから、排出する蒸気を少なくします。
※炊きかたによって蒸気の出る量が異なります。

圧力炊飯

●最大1.3気圧・107℃の高温で、ごはんを芯までしっかり炊き上げます。

圧力を使い分け、炊きかたいろいろ

●お米の種類・お好みに合わせて炊きかたが選べます。
●硬さの違う様々な雑穀をブレンドした五穀米も炊けます。
●玄米や玄米がゆ、雑炊などヘルシーなメニューも炊けます。
●煮込みやケーキなど炊飯以外のバラエティーな調理が楽しめます。

打込み鉄釜［内がま］

●鉄は、IH方式には最適の素材で、効率よく発熱します。また新開発の製法（溶射打込み鉄製法）により、蓄熱性、断熱性をあわせ持つ内がまです。

JVタイプのみ

スチーム40時間保温

●断熱構造とスチームで乾燥をおさえます。（「保温1」選択時）
※JXタイプはスチーム24時間保温です。

明るくて見やすいホワイト液晶

●操作ボタンを押すと表示窓をライトアップします。

［内がま］ゴールドフッ素加工

●内がまの内面に熱伝導率の高い金粒子を混ぜたフッ素をコーティングしています。
●内がま内面のフッ素被膜は5年保証です。
※JXタイプの内がま内面のフッ素被膜（炭入りフッ素加工）は3年保証です。

圧力式炊飯器だから

ふたの操作は 確実に
●炊飯前後、ふたを閉めるのに重く感じることがあります。ゆっくりカチッと音がするまで確実に閉めてください。
●炊飯後、ふたが開くのに少し時間がかかることがあります。

炊飯・調理中に ふたを開けない
●炊飯・調理中にふたを開けないでください。
（やけどのおそれ）

水加減は 水位目盛を守って
●水位目盛より多めに水加減すると、圧力を抜くときにふきこぼれる場合があります。
水位目盛を守ってください。

炊飯・調理中に 勢いよく蒸気が出ることがあります
●炊飯・調理中は蒸気口に手や顔を近づけないでください。
・「快速」など炊きかたによっては炊飯の途中で勢いよく蒸気が出ます。
・炊飯・調理中に動かしたり、揺らすと、勢いよく蒸気が出ます。
●「快速」や「調理」など炊きかたによっては蒸気が出ますので、壁や家具に蒸気が当たらないようにご使用ください。

圧力で炊飯するためPSマークとSGマークを取得しています

PSマーク
経済産業省が定めた圧力がまの安全基準に適合していることを示します。

SGマーク
製品安全協会が定めた圧力がまの基準に適合したことを示し、万一の製品の欠陥による人身事故の危害防止とその救済の補償をする表示マークです。

お願い　この炊飯器は、市販の圧力なべのようにいろいろな調理はできません。取扱説明書・料理集に記載の炊飯および調理メニュー以外の用途に使わないでください。
特に、市販の本などで紹介されている炊飯器を使った調理については、取扱説明書・料理集に記載されていない使いかたをすると、やけどやけがのおそれがありますので、やめてください。

特長、ご注意内容などをよくお読みになり、お使いください。

もくじ

各部のなまえ・付属品・操作部・表示窓

本　体

写真はRZ-JV100Kで説明しています。

付属品

■ の数字は主な説明のあるページです。

操作部

図は説明のために全ての表示が点灯した状態です。

お米（調理）ボタン
お米の種類や調理を選択します。

切ボタン
炊飯や調理、保温の停止、予約炊飯、浸し炊飯の取消しを行います。

スチーム保温ランプ
保温中点灯します。

炊飯（再加熱）ボタン
炊飯や調理、再加熱のスタートを行います。

予約ボタン
予約炊飯や浸し炊飯を選択します。

表示窓

少量ボタン
少量のごはん（1.0Lタイプ：2合（2カップ）まで、1.8Lタイプ：3合（3カップ）まで）を炊くときに選択します。

メニュー（保温）ボタン
炊きかたや調理のメニュー、保温の設定を選択します。

時刻・時間合わせボタン
現在時刻や予約炊飯時刻、浸し時間の設定を行います。

凸マーク
炊飯（再加熱）ボタンに「○」、切ボタンに「▭」の凸部をつけて目の不自由な方に配慮してあります。

表示窓

図は説明のために全ての表示が点灯した状態です。

明るくて見やすいホワイト液晶
（JVタイプのみ）
操作ボタンを押すと表示窓をライトアップします。10秒間操作しないと、自動的に消灯します。

白米 無洗米 五穀米 発芽玄米 玄米 調理
ふつう 極上 硬 軟 快速 炊込み おかゆ
保温 予約 1 2 少量 圧力 88:88 分
2合まで 煮込み 雑炊 蒸し 温泉卵 ケーキ

お米（調理）表示
▲の点灯で、選択したお米の種類や調理を表示します。

保温表示
「保温1」か「保温2」の文字の点灯で、選択した保温の設定を表示します。

予約炊飯表示
「予約1」か「予約2」の文字の点灯で、選択した予約を表示します。

炊きかた表示
炊きかた文字の点滅で、選択した炊きかたを表示します。

時刻・時間表示
炊き上がるまでの時間や保温経過時間、現在時刻、予約時刻、浸し時間などを表示します。

少量炊飯表示
少量炊飯の設定を1.0Lタイプは「少量2合まで」、1.8Lタイプは「少量3合まで」の文字で表示します。

圧力表示
圧力がかかるメニューの炊飯中に圧力の文字を表示します。

メニュー表示
メニュー文字の点滅で、選択した調理メニューを表示します。

安全上のご注意

この炊飯器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容です。
	してはいけない「禁止」内容です。
	実行しなければならない「指示」内容です。

⚠警告

感電・ショート・発火・火災を防ぐために

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する
●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
●電源プラグの刃や刃の取り付け部分にほこりが付着している場合はよく拭く

分解禁止

●改造はしない
修理技術者以外の人は、分解したり、修理をしない

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

水ぬれ禁止

●本体や電源コードを水につけたり、水をかけたりしない
本体を水のあるところに置かない

●電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、はさみこんだりしない
●吸気口·排気口やすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない
●子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わない

●異常·故障時にはただちに使用を中止する
・電源コードや電源プラグが異常に熱い
・電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする
・いつもより異常に熱くなったり、こげ臭いにおいがする
・触れるとビリビリ電気を感じる
・自動的に切れないときがある
・モーターの回転が止まったり、遅かったり不規則なときがある
・運転中に異音がする
・水漏れする
・その他の異常・故障がある

⚠警告

炊飯時 調理時 やけどを防ぐために（炊飯中は圧力がかかるため取り扱いを誤ると危険です）

●蒸気キャップを取り付ける
（ふきこぼれや、蒸気が勢いよく出てやけどのおそれ）

●炊飯·調理の前にふた加熱板とプレートをはずして調圧弁と安全弁にごはんなどの異物が付いていないことを確認する
また、フィルターとプレートを忘れずに取り付ける
（湯がふき出したり、突然ふたが開いてやけどのおそれ）→P.15

●ふたは前方中央部を押して「カチッ」と音がするまで確実に閉める

●フック部に米粒などが詰まったときは、ようじなどでかき出す

高温の蒸気が勢いよく出てやけどのおそれ

●蒸気口に手や顔を近づけない
炊飯·調理中は高温の蒸気が勢いよく出ることがあります。特に乳幼児に触れさせないように注意してください。

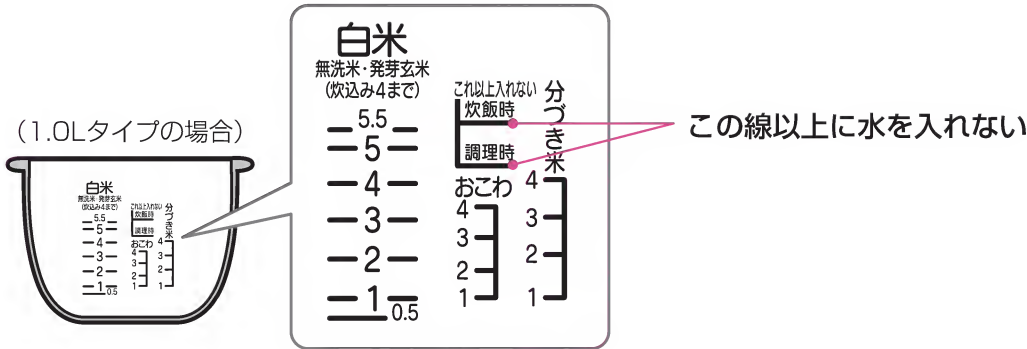
●炊飯·調理中はふたを開けたり、本体を揺らしたり、持ち運びしたりしない

安全上のご注意 つづき

⚠警告

炊飯時 調理時 やけどを防ぐために（炊飯中は圧力がかかるため取り扱いを誤ると危険です）

食材がとび出したり、湯がふき出したり、突然ふたが開いてやけどのおそれ

●内がまの「これ以上入れない」の線以上に水を入れない

●取扱説明書・料理集に記載の炊飯および調理メニュー以外の用途には使わない
次のような料理には使わない

- ねりもの（はんぺんなど）や豆類、麺類などの加熱中にふくらむ料理
- 急激にあわの出る「重そう」などを使う料理
- 多量の油を入れる料理
- 「カレー」や「シチュー」のルーなど、のり状になる料理
- ジャムなど泡立つ料理
- 食材をポリ袋などに入れて炊飯器で加熱する料理

●青菜、トマトなど薄皮状のものが浮きやすい野菜、具材を入れた料理や、クッキングシート、アルミ箔、ラップを使った料理はしない（料理集に記載の蒸し調理を除く）

⚠警告

炊飯時 やけどを防ぐために（炊飯中は圧力がかかるため取り扱いを誤ると危険です）

高温の蒸気が勢いよく出てやけどのおそれ

●圧力炊飯中（圧力の表示点灯時）はふたを開けない
圧力がかかっているため無理に開けるのは危険です。

食材がとび出したり、湯がふき出てやけどのおそれ

●炊飯中にふたをやむを得ず開けるときは、「切」ボタンを押して炊飯を中止し、点滅している圧力の表示が消えてから（約30秒後）、ふたを開ける
・圧力が抜けて蒸気口から蒸気が勢いよく出ますので注意してください。
・炊飯を続ける場合は、お米・メニューの選択を確認し、「炊飯（再加熱）」ボタンを押してください。
炊飯を中止した状態によってはうまく炊き上がらないことがあります。

調理時 やけどを防ぐために

食材がとび出したり、湯がふき出したり、突然ふたが開いてやけどのおそれ

●調理中はふたを開けない
ふたをやむを得ず開けるときは、「切」ボタンを押して調理を中止してから（約30秒後）、ふたを開けてください。

⚠注意

こんなところで使わない

●水のかかるところや、火気の近く
（感電・漏電・火災の原因）

●不安定な場所や、熱に弱い敷物の上
（けが・火災の原因）

●荷重強度が不足しているスライド式テーブルの上では使わない
（テーブルが破損して本体が落ちて、けがややけどの原因）

●吸気口・排気口をふさぐような敷物の上、アルミ箔の上
（過熱・やけどの原因）

●壁や家具の近く、またキッチン用収納棚を使うときは、中に蒸気がこもらないようにする
（結露で、壁や家具の変色・変形の原因）

●ふたが完全に開かない場所
（プレートに触れたり、熱いしずくがたれて、やけどの原因）

安全上のご注意 つづき

⚠注意

電源プラグの取り扱い

電源プラグを抜く

●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
（絶縁劣化による感電・漏電による火災・やけど・けがの原因）

●電源プラグを抜くときや、巻き取るときは電源コードを持たずに電源プラグを持つ
（けが・火災の原因）

やけどを防ぐために

●調理をするときは調理メニューを確認する
水量の多い「雑炊」を他の調理メニューで間違えて炊くと多量にふきこぼれて危険です。

●お手入れは、電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う
（やけどの原因）

●ふた加熱板は冷めてからはずす

●プレートは冷めてからはずす
（熱湯がこぼれるおそれ）

●ふたを完全に開けてからごはんをよそう
（熱いしずくがたれるおそれ）

接触禁止

●使用中や使用直後は、内がま、ふた加熱板、プレートや蒸気キャップなどの高温部に触れない

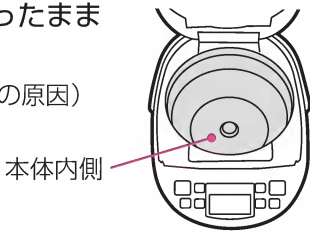
●本体を持ち運ぶときはフックボタンに触れない
（ふたが開くおそれ）

●炊飯中はハンドルを立てない
（ハンドルが蒸気で高温になるおそれ）

事故をさけるために

●専用の内がま以外は使用しない
（異常動作・過熱・火災の原因）

●本体内側に金属性の小物やアルミ箔などが入ったまま使わない
（過熱・火災の原因）

本体内側

●内がまを床に落としたり、強くぶつけて、内がま外側の「打込み鉄」がはく離した場合は使用しない
（過熱により内がまに接する部分のプラスチックが溶けて、においを生じたり、火災の原因）

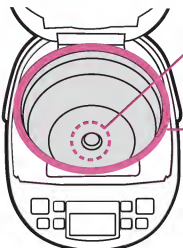
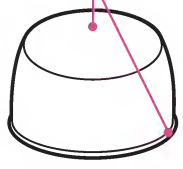
●心臓用のペースメーカーをご使用の場合は、本製品の使用にあたって、医師とよくご相談ください
（本製品の動作がペースメーカーに影響を与えることがあるため）

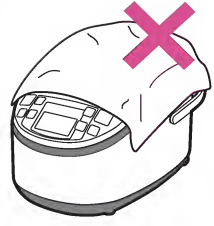
●磁気に弱いものを近づけない
（キャッシュカード・自動改札用定期券など磁気の記憶が消えるおそれ）

お願い

故障や誤動作を防ぐために

●空だきはしない
（過熱の原因）

●異物が付いたまま使わない
特に右図の部分はきれいにする
（故障やうまく炊けない原因）

●内がまを、直火にかけたり電子レンジで加熱したり、電磁調理器などに使用しない
（変形したり、フッ素被膜がはがれる原因）

●ふきん・タオルなどで、ふたを覆った状態で使わない
（変色・変形・故障の原因）

●テレビ・ラジオ・インターホン・コードレス電話の近くで使わない（雑音や画面のちらつきの原因）

●本体を落としたり、破損したときは使用を中止し、お買い上げの販売店に修理・点検を依頼してください

給水レスオートスチーマーについて

●炊飯するたびにふた加熱板とプレートをはずして洗ってください
（おねばが乾燥・変色したものがたまる原因）
（保温しない場合は水がたまりすぎてごはんにたれる原因）

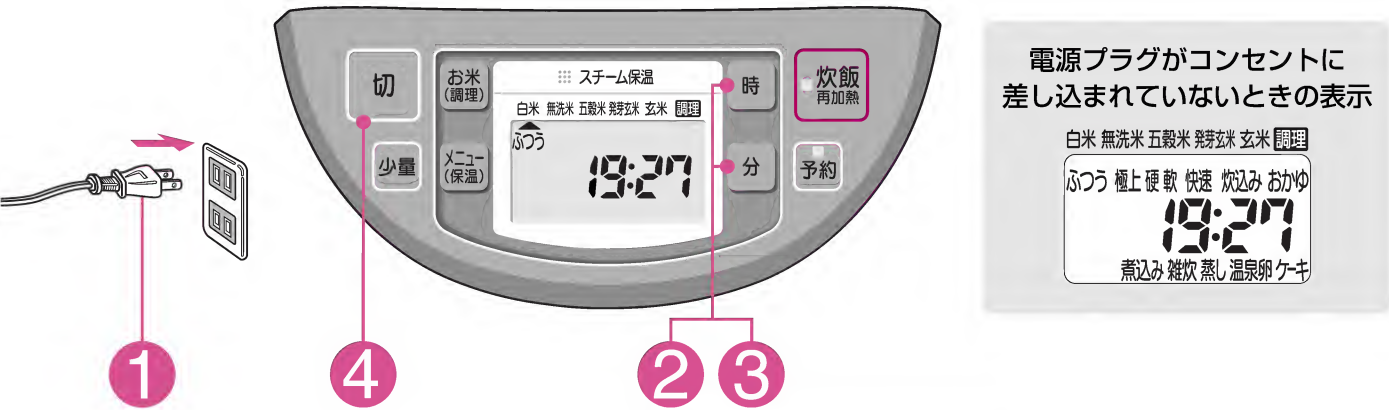
●プレートを付けないと、スチームによる加湿効果が得られなくなります

現在時刻の合わせかた

●電源プラグがコンセントに差し込まれていないときも、時計は内蔵電池により動作し、表示しています。
●時計は室温により、1ヶ月に約2分程ずれることがあります。以下の手順で現在時刻に合わせてください。

電源プラグがコンセントに差し込まれていないときの表示

お米・炊きかたの表示は一例

例）「19:27」を「20:30」にするとき

1 電源プラグをコンセントに差し込む

●炊飯・調理中、保温中、予約中、再加熱中は時刻合わせができません。

2 時 または 分 を約1秒間押し、時刻表示を点滅させる

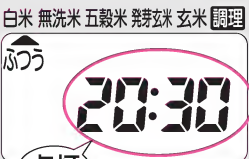
現在時刻点滅中に「少量」ボタンを約3秒間押すと、「12:00」表示（昼の12時）になります。

3 時 および 分 を押し、「20:30」にする

●ボタンを押すごとに時刻が変わります。

・時 は1時間単位、分 は1分単位で進みます
・押し続けると早送りします

●時計は24時間表示で、夜中の12時は0:00に、昼の12時は12:00に合わせます。

4 切 を押し、時刻表示を点灯に変える

●「切」ボタンを押さないと、60秒後に自動的に時刻合わせ完了となります。

メロディー音の切り替えかた

●炊飯や調理の開始と終了をメロディー音でお知らせします。
●工場出荷時は「メロディー（標準）」に設定されています。
「メロディー（低音）」または「ブザー」に切り替えできます。以下の手順で切り替えてください。

電源プラグがコンセントに差し込まれていないときの表示

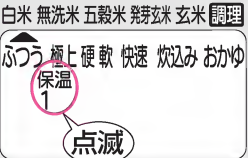
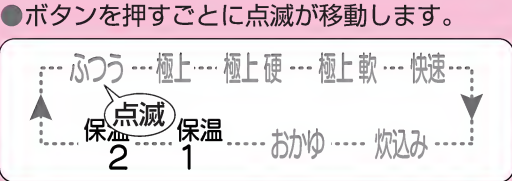
表示は「保温1」を選んだ場合の例

1 電源プラグをコンセントに差し込み、内がまを本体にセットする

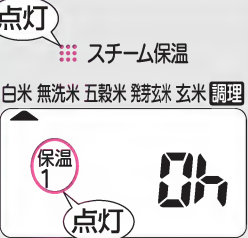
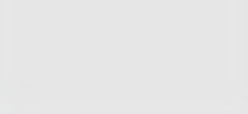
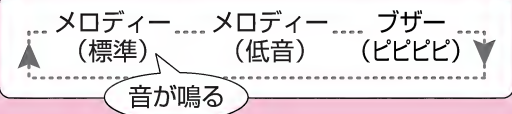
●炊飯・調理中、予約中、再加熱中はメロディーの切り替えができません。メロディー音の切り替えができるのは「保温1」「保温2」中のみです。

2 メニュー（保温）を押し、「保温1」または「保温2」を点滅させる

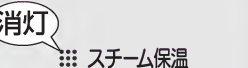
●ボタンを押すごとに点滅が移動します。

点滅

3 炊飯 再加熱 を押し、スチーム保温ランプを点灯させる

4 予約 を5秒間押し続ける

●ボタンを約5秒間押すごとに鳴る音が変わります。

●鳴った音に切り替わります。

5 切 を押し、スチーム保温ランプを消灯させる

消灯 スチーム保温

炊飯の準備（おいしく炊く準備のポイント）

お米の準備をする

1 お米を計量する

●無洗米は無洗米用計量カップ（グリーン）を使ってください。

付属品の計量カップで正しく計る

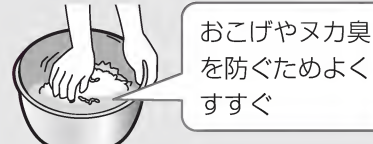
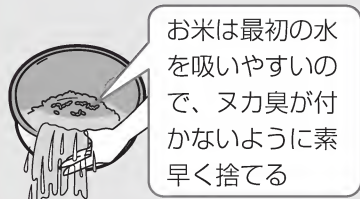
付属品計量カップの1カップ（すりきり1杯）量	
白米用	約180mL（約1合）
無洗米用	約170mL（約1合）

お願い ●市販の計量カップや計量米びつは使わないでください。（お米の量が異なることがあります）

2 お米を研ぐ

●無洗米は底からかき混ぜ、にごる場合はすすいでください。（にごりは、うまく炊けない原因になることがあります）

最初はたっぷりの水でかき混ぜ、水を素早く捨てる

「研ぐ→すすぐ」を水がきれいになるまで繰り返す

お願い ●内がまで研ぐ場合は、金属製の泡立て器などを使わないでください。（フッ素被膜がはがれることがあります）

3 水加減をする

お米を平らにならし、水平なところに置き
お米の種類や量、炊きかたに合った水位目盛で水加減する

例）1.0Lタイプで「白米」で、3カップのお米を炊くとき

水位線は目安です。お好みにより水加減を調整してください。
ただし、水位目盛の2mm上までとし、それ以上は水を入れないでください。
（ふきこぼれる場合があります。）

お願い
●お湯やアルカリ度の高い水は使わないでください。（ベタつきや黄変の原因になることがあります）
●新米を炊くときは、水加減を少なめにしてください。水分の多い新米を、ベタつきを抑えて炊くためです。
●雑穀を炊くときの水加減は、市販の雑穀米の説明書（袋などに記載）も参考にしてください。

本体の準備をする

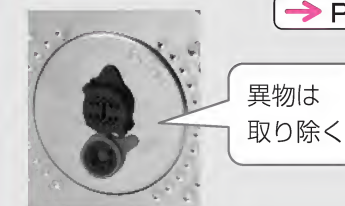
4 内がまを本体にセットする

内がま外側や底部の水気や異物をふき取ってから、本体にセットする

お願い 内がま外側に水気や異物が付いたままセットしないでください。（故障やうまく炊けない原因）

5 ふたを確認する

フィルター、調圧弁、安全弁に詰まりや汚れがないことを確認する →P.26、27

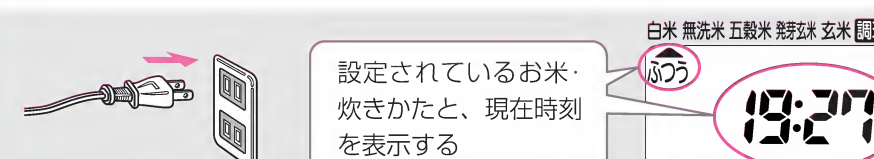
給水レスオートスチーマーを取り付ける →P.26、27

警告 炊飯・調理の前にふた加熱板とプレートをはずして調圧弁と安全弁にごはんなどの異物が付いていないことを確認するまた、フィルターとプレートを忘れずに取り付ける（湯がふきだしたり、突然ふたが開いてやけどのおそれ）

6 ふたを閉める、蒸気キャップを取り付ける

ふたは、「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと確実に閉め、蒸気キャップを取り付ける

お願い 圧力式は密閉度が高く、空気が抜けにくいため、ふたを勢いよく閉めると閉まりません。

警告
●ふたは前方中央部を押して「カチッ」と音がするまで確実に閉める（突然ふたが開いてやけどのおそれ）
●蒸気キャップを必ず取り付ける（ふきこぼれや、蒸気が勢いよく出てやけどのおそれ）

7 電源プラグをコンセントに差し込む

お願い 電源プラグをコンセントに差し込んだとき、カチッと音がしたり火花が出る場合がありますがインバーター回路に充電するため故障ではありません。

準備を終えたら、炊飯します

●調理をする場合 → P.24、36
●すぐ炊飯する場合（白米、無洗米の炊飯） → P.16、17
●予約炊飯をする場合（食べたい時刻に炊き上げる） → P.20
●すぐ炊飯する場合（五穀米（雑穀米）、発芽玄米、玄米（分づき米）、麦ごはん、もち米（おこわ）の炊飯） → P.18、19
●浸し炊飯をする場合（お米を浸してから炊く） → P.21